

令和7年度第78回北海道高等学校サッカー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会
第14回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会

開 催 要 項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 令和7年度第78回北海道高等学校サッカー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会
第14回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会
- 3 主 催 北海道高等学校体育連盟、北海道教育委員会、公益財団法人北海道サッカー協会
- 4 主 管 北海道高等学校体育連盟サッカー専門部、北海道高等学校体育連盟旭川支部
旭川地区サッカー協会
- 5 後 援 旭川市、旭川市教育委員会
北海道新聞社、NHK旭川放送局
- 6 当 番 校 北海道旭川北高等学校 〒070-0901 旭川市花咲町3丁目
TEL 0166-51-4620 FAX 0166-51-2818
運営協力校 旭川市内高等学校
- 7 競 技 日 程 (1)開会式 令和7年6月10日(火) 17:00 旭川北高校 体育館
(2)競 技 令和7年6月11日(水)～13日(金)
17日(火)・18日(水)の5日間
11日(水) 10:30 女子競技開始
10:30 男子競技開始
12日(木) 10:30 女子競技開始
10:30 男子競技開始
13日(金) 10:30 競技開始
17日(火) 10:30 女子準決勝
13:00 男子準決勝
18日(水) 10:30 女子決勝
13:00 男子決勝
(3)閉会式 令和7年6月18日(水) 決勝戦終了後
- 8 会 場 (1)開会式 令和7年6月10日(火) 監督主将会議終了後(旭川北高校 体育館)
(2)競 技 旭川市リアルター夢りんご東光スポーツ公園球技場 人工芝(2面)
旭川市忠和公園多目的広場 天然芝(2面)
(3)閉会式 旭川市リアルター夢りんご東光スポーツ公園球技場
- 9 参 加 資 格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は北海道高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、本競技専門部に登録し、本競技実施要項により大会参加の資格を得たものに限る。
(3) 2025年度(公財)日本サッカー協会に登録を完了したものとする。
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入または加入の意志のある者
(5) 年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での競技出場は1回限りとする。 (「出場」とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさす。) 大会参加資格を満たし日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
(6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(8) 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(9) 転校後6カ月未満のもの(全道大会日起算)は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。

- (10) 各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とすること。
(選手証とは、K I C K O F F から出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。)
- (11) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (12) 参加資格の特例
- ア 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、本競技実施要項により大会参加資格を満たした生徒について、別に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規程】

- 1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び第134条の学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
 - 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、北海道高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ全道大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。
- 10 チーム編成
- (1) チーム編成は、引率責任者1名・監督1名・マネージャー(2名)及び選手(25名以内)とする。
 - (2) 外国人留学生のエントリー数は、4名以内とする。そのうち、試合に出場することができるのは2名以内とする。
- 11 競技規則
- (1) (公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2025/26」による。
 - (2) 試合開始前に、選手と9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、5名まで主審の許可を得て交代することができる。
 - (3) 交代回数の制限について
 - ア 選手交代は、交代回数を前半、後半合わせて3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
 - イ ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルおよび延長戦のハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
 - ウ 延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる。(直前の70分間と合わせて、最大6名かつ4回の交代が可能となる)
 - エ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。
 - ①本項に基づく選手の交代は、前項に定める交代人数および交代回数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。
 - ②本項に基づく選手の交代が使われたならば、相手チームは、(脳振盪に限らず)いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。
 - (4) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
 - (5) 今大会において退場を命じられた競技者は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律委員会で決定する。
 - (6) 今大会において2回の累積警告を受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。

(7) ユニフォームについて

- ア シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。ショーツの番号については付けることが望ましい。(番号は1番から25番までの番号とする。) 副ユニフォームについても同様である。
- イ 正副2着を必ず携行すること。(副はシャツ、ショーツ、ソックスそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること)
- ウ 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
- エ チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。
- オ 参加申込以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。
- カ ユニフォーム広告については(公財)全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規程」、第4条(競技者の禁止事項)により禁止する。
- キ チームキャプテンは、アームバンドを着用しなければならない。単色のアームバンド。それには、「キャプテン」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字も入れることができるが、単色でなければならない。
なお、キャプテンは、スローガン、メッセージ、イメージおよび広告に関しては、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に一致したシンプルなアームバンドを着用しなければならない。
- ク その他項目については(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程(2022年2月10日改正)に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

12 競技方法 (1) トーナメント方式により北海道代表を決定する。

- (2) 試合時間は、1回戦から決勝まで70分間(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分とする。勝敗が決しない場合は、20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合はPK戦により、次回戦進出チーム及び優勝校を決定する。

13 マッチウエルフェア オフィサー 準決勝・決勝において配置する。

14 引率責任者 および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申し出に別途協議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

15 参加申込 ※個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

- (1) 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入して、一通はできるだけ早くe-mailで、一通(学校長の職印のあるもの)は郵送で下記に送付する。
- (2) 申込先 〒070-0901 旭川市花咲町3丁目
北海道旭川北高等学校 高体連全道サッカー大会事務局
TEL 0166-51-4620 FAX 0166-51-2818
メールアドレス asahikawakita-z3@hokkaido-c.ed.jp
- (3) 申込締切期日 令和7年5月29日(木) 15:00まで
- (4) 「KICKOFF」から登録選手25名分の「選手証・登録選手一覧」を背番号順番に並び変えダウンロードし、参加申し込み書と同時にe-mailにて送付する。
- (5) 登録変更 選手の変更は、3名以内とし変更用紙に必要事項を記入し、一通はできるだけ早くe-mailで、一通(学校長の職印のあるもの)は郵送で上記に送付すること。
番号、ユニフォームの色の変更は認めない。なお、変更した選手の選手証のデータも「KICKOFF」から出力し送付すること。選手変更用紙は6月4日(水)までに当番校必着のこと。

16 参加料 選手一名につき1,500円とする。現金書留で申込期日までに申し込み先に送付すること。または、下記銀行口座へ入金をする。

口座名 旭川北高校 高体連事務局 代表 北村 京一(キムラ キョウイチ)
旭川信用金庫 北星支店(店番号003) 普通預金口座 0764638

17 表彰 (1) 優勝以下第3位まで賞状を授与する。優勝チーム、準優勝チームには優勝杯、準優勝杯を授与し表彰する。

(2) 男子優勝チームには7月25日より、福島県で開催される全国高校総体へ、女子優勝チーム、準優勝チームには7月28日より本道で開催される全国高校総体への出場資格を与え出場を義務付ける。

- 18 諸 会 議 (1) 北海道高体連専門委員会 6月10日(火) 13:00 旭川北高校 会議室
- (2) 監督主将会議 6月10日(火) 16:00 旭川北高校 体育館
- (3) 開会式 6月10日(火) 17:00 旭川北高校 体育館
- (4) 審判員会議 6月10日(火) 18:00 旭川北高校 会議室

19 宿 泊 申 込 名鉄観光サービス株式会社に宿泊斡旋を委託している。別途宿泊要領に従い各校で申し込むこと。当番校への問い合わせはしないこと。

20 組合抽選会 5月30日(金) 15:30に専門委員会・当番校で実施する。参加チーム監督・主将の抽選会の参加はリモート形式とする。リモート接続などの連絡は、後日、支部専門委員を通じておこなう。参加できないチームは専門委員会に委任し、欠席することができる。

- 21 そ の 他
- (1) 各試合の前に代表者ミーティングを実施する。
 - ①各試合競技開始80分前に所定の場所で行う。
 - ②「メンバー提出用紙」を提出すること。(ユニフォーム欄は未記入のこと)
 - ③両チームのユニフォームを決定する。(ユニフォームを正副一式持参する)
 - ④諸注意事項の説明等を行う。
 - (2) 選手資格に関して、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。
 - (3) 荒天・震災・雷等、不測の事態により競技に影響がある場合は、専門委員会、当番校で協議し決定する。
 - (4) 政府から緊急事態宣言等が発令された場合は、大会を延期もしくは中止することもあり得る。
 - (5) 男子優勝チーム、女子優勝・準優勝チームには「令和7年度全国高等学校総合体育大会」への参加を義務付ける。不測の事態に備えた「代替え代表チーム」の優先順位は、男女ともに準決勝敗退チームから抽選により決定された順とする。
 - (6) 支部代表チームが不測の事態で大会出場ができなくなった場合は、5月29日(木)の大会申込み締切日までであれば、各支部より代替えチーム(支部予選において代表校の次の戦績のチーム)を選出することができる。締切日以降であれば、申込みを行ったチームは不戦敗とする。
 - (7) 準決勝・決勝に進出したチームは、サポートメンバーを5名を登録することとする。5名のサポートメンバーを登録できない場合は、当番校に相談し、対応を検討する。
 - (8) 監督主将会議に監督が出席できない場合については、当番校に代理出席の事前連絡をすること。なお、書式は任意様式でかまわない。